令和 8 年 10 月 30 日

総 務 大 臣 殿

福岡県八女市黒木町今 1314-1
一般財団法人　ＦＭ八女
理事長　櫨川 龍也

# 放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第 8 条第 1 項第 3 号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

番組審議会議事録（第 87 回　令和 8 年 10 月 22 日開催）　1 部

以　上

# 第87回 FM八女番組審議委員会 議事録

**１ 開 催 日**　令和８年１０月２２日（木）　１６：００

**２ 開催場所**　ＦＭ八女　会議室

**３ 出 席 者**　出席者総数　８名

委員総数　７名

出席委員　６名　青木歳男　酒井裕樹　中村元紀

小森大作　白鳥隆之　東千紘

レポート提出委員　１名　川床祐子

放送事業者側出席者　２名　小井手悦明　木下晴菜

**４ 議　　題**　「えほんをどうぞ♪」

令和８年９月２９日　（火）　15:00～16:00

**５ 議事の概要**　CDに収録し、資料とともに各委員へ届けた上で、

上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。

**６ 番組内容**　読み聞かせ等で活動するパーソナリティが、子育て中の悩みを共有し、
そのお悩みに寄り添う絵本をご紹介していく番組。

**７ 審議内容**

**■ 番組企画について**

・絵本紹介と子育ての悩み相談を組み合わせた企画は独自性があり、ラジオで絵本を紹介するところも珍しく、興味深い内容だった。
・子育て中のママやパパに寄り添い、悩みを抱える方の支えや勇気につながる番組だった。
・子育ては大変だけれど子育てをしている時間には限りがあり貴重な時間で、楽しみながらやった方がいいと気づかせてくれる番組だった。
・子供にもっと優しく接しようと思わせてくれる番組だった。
・子育て世代だけでなく、子育てを終えた世代も懐かしさや温かさを感じられる番組であった。

■ 番組内容について

・パーソナリティの落ち着いた話し方や、ゆったりとした雰囲気が心地よく、リラックスして聴くことができた。
・BGMの選曲もトークの内容や雰囲気に合っており、番組全体の世界観が統一されていた感じがした。
・オープニングがBGMのピアノの落ち着いた音色で始まり、パーソナリティの柔らかな声質もあって、少し寂しい印象も受けるが、もう少し明るい楽曲を取り入れてもよいのではないか。
・絵本のあらすじだけでなく、絵本自体が絵だけのページがあるなど表現の仕方や仕掛け等についても紹介されており、興味深かった。

・『さるのひとりごと』の物語の解釈やメッセージ性を説明していたのが、もう少し整理して紹介すると作品の魅力が、より伝わるのではないか。
・子育ての悩み相談については、出演者の経験談を交えた話に共感でき、悩みを抱える保護者の励みになる内容だった。
・番組内で出演者の咳が聞こえる場面があり、放送上のノイズへの対応や、体調不良時の工夫について知りたい。
⇒通常、マイクをオフにして極力マイクに入らないようにしている。今回の場合は、相手パーソナリティの声質も考慮したマイクの収音範囲設定の具合もあって影響したと思われるため、今後、注意したい。

■ 今後の取組みについて
・「絵本紹介の番組だと思ったが、悩みの方が多かった気がする。絵本紹介と悩み相談のバランスを考えつつ、番組タイトルの副題でも「お悩み相談」的な文言を足すといいのではないか。
⇒次年度の番組作成検討の参考とさせていただく。
・「子育てに関する相談については、出演者自身の経験談を基にした回答や内容であることを予め伝えた上で、必要に応じて専門家を紹介するなどの対応もあってもいいと思う。
⇒今後、番組内で柔軟に対処したい。
・「放送日が第５火曜日になっていることから年間では３～４回の放送になるため、もっと放送して貰いたい。
⇒次年度の番組改編検討の参考にさせていただく。

■ 総括
・絵本紹介と子育ての悩み相談を組み合わせた、オリジナリティのある番組として評価された。
・子育て世代だけでなく、幅広い世代が共感し、温かい気持ちになれる番組であるとの意見があった。
・番組独自の穏やかで柔らかな雰囲気や、子育てに悩む保護者に寄り添う姿勢を大切にしながら、絵本紹介の充実や専門家の活用などさらなる内容の充実と放送回数の増についても期待が寄せられた。

**８ 審議機関の答申又は意見の概要の公表**

公表の方法 自社ホームページへ掲載

**９ 次回の番組審議委員会**

・日　時　　令和８年１２月２３日（水）　１６：３０
・場　所　　おりなす八女 １階 創作練習室Ｂ（FM八女サテライトスタジオ横）

| 社 名 | 一般財団法人 ＦＭ八女 |
|---|---|